

報道関係者各位

2025年7月10日 配信 No.2025-17

立命館アジア太平洋大学（APU）

「半導体国際ビジネス人材育成プログラム」を始動 — 九州の企業と連携し7月12日開講 — 多文化環境で育む、文理融合の半導体国際ビジネス人材の育成へ

立命館アジア太平洋大学（大分県別府市、学長：米山 裕、以下APU）は、九州エリアのさまざまな半導体関連企業と連携した正課外プログラム「半導体国際ビジネスマネジメント人材養成プログラム」を7月12日から実施いたします。本プログラムは、大分県内を中心とした約15の企業・団体と連携し展開されます。

近年、九州各地で半導体関連の大きな動きが続く一方で、日本国内における半導体産業の人材育成が急務となっています。業界内では、理系人材だけでなく、異文化・宗教・慣習などへの理解を持ち、グローバルな視点でコミュニケーション能力とマネジメント能力を備えた「多文化マネジメント人材」へのニーズも高まっています。

世界110ヵ国・地域から多様な人材が集うAPUは、現在、3学部・2研究科を擁し、多文化共生空間の中で学生や大学院生が学びを深めている国際大学です。理系学部は持たないものの、九州に位置する国際大学として、APUはこのたび半導体業界に新たな可能性を見出し貢献すべく、独自のプログラムを開発しました。

本プログラムは、大きく分けて3つの構成で成り立っています。第1に専門家による半導体業界、半導体サプライチェーン、半導体ビジネスの「概要講義」。第2に九州半導体クラスターにおける半導体の原料・設計・製造・ユーザー企業など半導体サプライチェーンの各工程の関連事業者への「視察」。そして、第3に学び、経験した内容をもとに「受講者による今後の半導体ビジネスに関する提案発表」。これらのプログラムを、国内学生14人、国際学生9人、（うち、大学院生3人）が、半導体を多角的に学びを深めます。

本プログラムを通じて、国際的に活躍できる半導体ビジネス人材の育成と、九州地域を中心とする半導体関連企業への貢献を目指してまいります。

■プログラム概要

【概要講義】7月12日（土）、7月16日（水）、8月5日（火）

- ・半導体業界の概要・サプライチェーン・基本技術
- ・半導体業界の産業構造・行政施策
- ・九州の半導体クラスター・事例

【視察】8月25日（月）～8月29日（金）

- ・半導体 サプライチェーン各社現場視察

【提案発表】9月9日（火）

- ・発表テーマ：「世界の中のシリコンアイランド九州の将来像」

【参加者】APU：23名（国内学生14人、国際学生9人）

【担当教員】藤田正典 国際経営学部 教授

【スケジュール】2枚目をご覧ください。



担当教員 藤田正典（フジタマサノリ）教授

■担当教員（藤田正典）のコメント

日本政府が戦略的に取り組んでいる半導体産業の強化に向けて、半導体分野の高度技術者の育成・確保とともに、国際的な半導体ビジネス人材の育成・確保も重要な課題です。今回のプログラムでは、シリコンアイランドと呼ばれる九州に位置し国内で最も国際化が進んでいるAPUにおいて、半導体業界の第一線の専門家の講義と半導体サプライチェーンの各社の現場視察により、国際的な半導体ビジネス人材を育成し、九州を起点としたグローバルな半導体ビジネスの発展に貢献します。

※ご取材にあたって

「視察」に関するご取材は、一部の企業のみ対応可能です。詳細は担当者までお問い合わせください。